

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 4年 6月27日	作成部局名	こども健やか部	担当部局名			
-----	-------------	-------	---------	-------	--	--	--

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち	担当課	児童青少年課	
		担当課		
		担当課		
施策	03 児童・青少年の育成環境の充実	関係課		
		関係課		
		関係課		
施策の目的	児童・青少年が心身ともに健全に成長するために、家庭・地域・学校・行政が一体となり、児童・青少年の育成環境の充実や整備を図ります。			

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み	プリムローズ管理運営事業
取り組み	こどもの国管理運営事業
取り組み	学童保育室事業
取り組み	放課後子ども教室事業
取り組み	青少年の居場所事業
取り組み	
取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標） <CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値						
				当初値	R3	R4	R5	R6	R7	
児童センター年間延べ利用者数（中学生）	中高生の年間延べ利用者数 (実績から前年比1.0%増で推計)	人	28,869	26,927	17,807					
青少年の居場所の年間延べ利用者数	青少年の居場所の年間延べ利用者数 (実績から前年比0.6%増で推計)	人	1,555	1,492	1,260					
豊かな心を育む青少年の育成に関する満足度	満足している市民の割合 (過去の実績のすう勢値により設定)	%	19.7	17.1	22.1					
その他施策の取組事項に係る成果										

4. 施策の展開 <ACTION>

<p>課題</p> <p>○少子化が叫ばれる中、戸田市では駅の周辺など今後も児童数の増加が見込まれる地域があり、その地域の小学校の公立学童保育室では待機児童が発生する可能性がある。現に令和3年度当初は芦原小で待機児童が3名、令和4年度当初は芦原小、南小を中心に待機児童が30名発生した。保育需要に合わせた待機児童対策が必要である。</p> <p>○児童センターは18歳以下の方が利用できるが、令和3年度の中高生世代の利用割合は全体の9.6%である。中高生世代も利用できることをより周知する必要がある。</p> <p>○放課後子ども教室及び青少年の居場所を運営するにあたり、スタッフが十分ではない。特に放課後子ども教室はコロナ禍で令和2・3年度は開催中止となったため、スタッフの減少が続いている。子ども達が安心して楽しく遊べるよう、安定したスタッフの確保が必要である。</p>	<p>対 応 策</p>	<p>○学童保育の需要が高い地域に民間学童保育室の誘致を行う。また、公立学童保育室の建替時に定員を増加して建築する。</p> <p>○児童センターに軽体育室や自習席があることを広く周知し、中高生世代の利用を促進する。また、コロナ禍で中止となっている中高生主体のイベントを、感染状況をみつつ再開していく。</p> <p>○放課後子ども教室及び青少年の居場所について、広報やHP、児童センターや大学を通じてスタッフを募集し、安定した運営を行っていく。</p>
---	----------------------	---

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 4年 6月27日	作成部局名	こども健やか部	担当部局名	
-----	-------------	-------	---------	-------	--

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果										担当部局の評価			
		事業コード		事業区分	R3決算額		強 靱 化 計 画	総 合 戦 略	事 業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト	
		事業内容			R 5 計 画 額	R4予算額					施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性			
						事業費											
	02	青少年健全育成事業		任意	6,886			1								新型コロナの影響も含め、今後事業の在り方を整理していく。令和3年度より青少年教育事業を統合した。	
		01	10	04	03	01	02										
		青少年に対する各種啓発事業や地域の巡回補導を実施し、			12,840	-	-			B	A	A	B	B			
		青少年の居場所事業			12,502												
	03	青少年の居場所事業		任意	10,386			1	○							ボランティアスタッフの拡充を推進し、安定的な運営を図っていく。	
		01	10	04	03	01	03										
		市内公共施設に指導員を配置して青少年の居場所として開			15,274	-	-			A	A	A	B	B			
					17,655												
					16,362												
					16,362												
					4,847												

計 (千円)		R3決算額	R4計画額	R5予算額
	事業費	860,098	1,115,236	1,024,813
	うち一般財源	486,713	681,170	608,546

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和5年度で終了 8 令和4年度で終了 9 令和3年度で終了